

EEGマッピング研究用プログラム

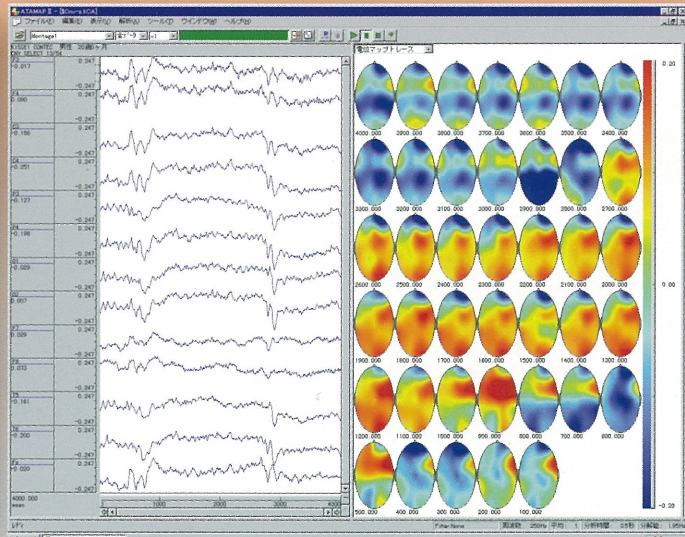
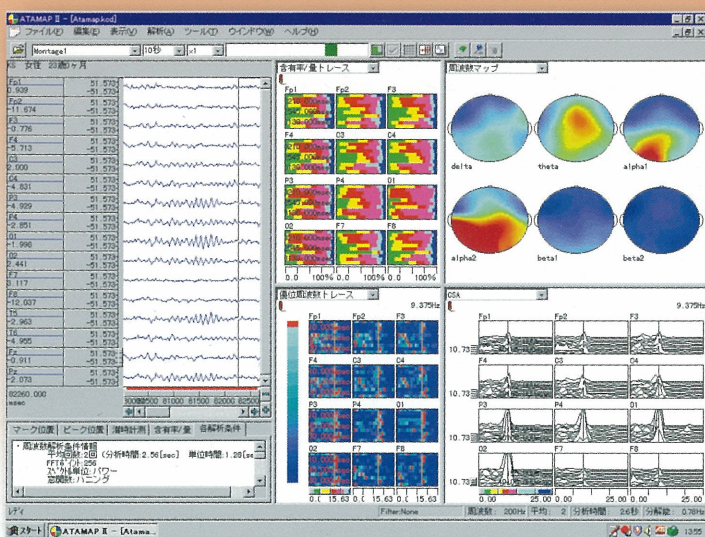
# ATAMAP<sup>®</sup> II

for Windows

アタマップ・II

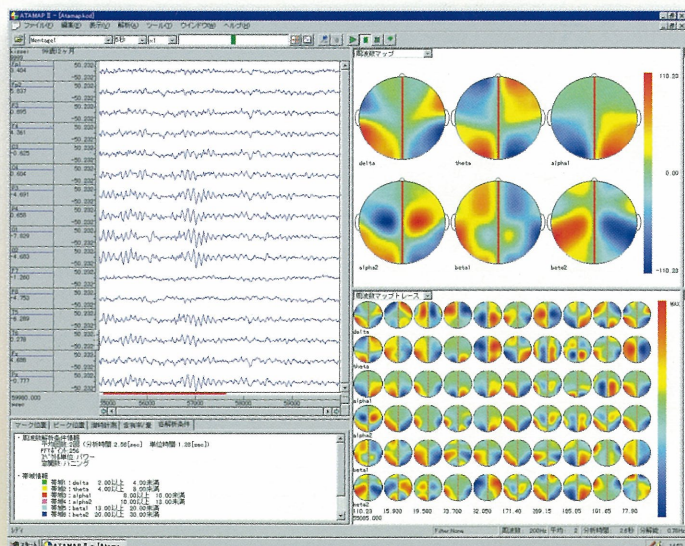
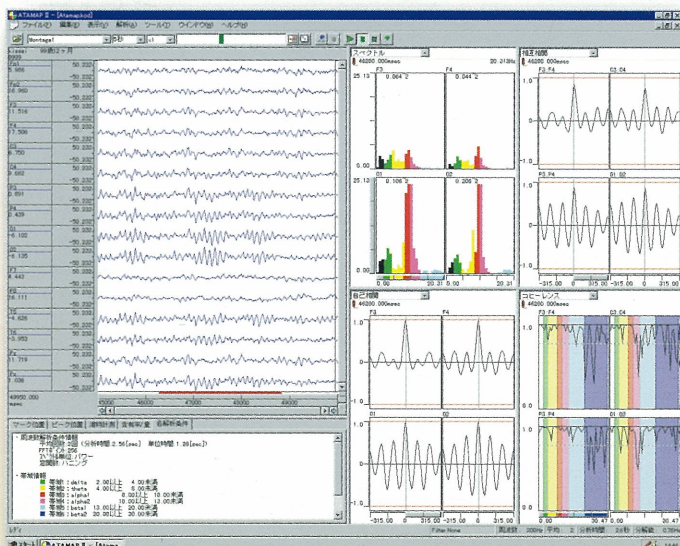
Windows で

多チャンネル・自由部位での誘発脳波の電位マッピング・  
背景脳波の周波数帯域別マッピングを実現！



周波数帯域別マップ、CSA、含有率トレース、優位周波数トレース

誘発脳波電位マップトレース



スペクトル、自己相関、相互相関、コヒーレンス

左右差マップ



## ATAMAP<sup>®</sup> IIの特長

- 最大256チャンネルの脳波解析と脳波マッピングが行えます。
- EEG記録は最大32チャンネルの脳波を記録することができます  
(※誘発脳波の記録は別途弊社製品「EPLYZER<sup>®</sup> II」が必要)。
- 記録チャンネルが同時にモニタリングできます。
- モニタージュ設定では入力部位(電極位置)の配置を自由に設定・変更できます。又、記録していない部位に対し、任意の補間式を設定することも可能です。
- 帯域は最大10帯域を設定でき、帯域名や帯域値を任意に変更できます。
- 脳波データに対して、デジタルフィルタを施すことができます。
- 解析の種類は電位マップ、電位マップトレース、周波数マップ、周波数マップトレース、スペクトル、CSA、含有率/量、含有率/量トレース、優位周波数、優位周波数トレース、自己相関、相互相関、コヒーレンスがあります。トレース機能を使用すれば、変化量を連続的に把握できます。
- 脳波データから左右差マップや検定マップ(t値、P値)を行うことができます。
- デジタル脳波計やデジタルレコーダなど各種計測機器とのインターフェイスも用意してありますので、これらの機器で収録したデータを読み込むことが可能です(※インターフェイスは別途オプション、この場合は解析機能のみ利用可能)。又、弊社製品 SleepSign<sup>™</sup>、BIMUTAS<sup>®</sup> II、QuickEEG<sup>®</sup> II で収録した波形データも使用可能です(※一部制限有り)。
- 解析結果をテキストファイルに保存できますので、市販の表計算ソフトで処理することが可能です。

## ATAMAP<sup>®</sup> IIの動作環境

パソコン ● DOS/V機 (パラレルポートまたはUSBポート搭載機種) (注1)  
CPU: Pentium<sup>®</sup>133MHz以上 (データ収録時はPentium<sup>®</sup>400MHz以上)  
メモリ: 64MB以上 ハードディスク: 空き容量50MB以上 解像度: 800×600以上

OS ● Windows XP (注2)

プリンタ ● 各OSに対応したプリンタ

A/D変換ボード ● (DOS/V機 PCIバスの場合) コンテック社製AD16-16U(PCI)EH・AD12-16U(PCI)EH(注3)  
(ノートパソコンPCMCIAの場合) コンテック社製ADA16-32/2(CB)F

(注1) ソフトのプロテクトキーを装着する為に必要です。

(注2) その他のOSを使用したい場合は弊社までお問い合わせください。

(注3) 17チャンネル以上のデータを収録する場合、A/D変換ボード以外にオプションボードが必要になります。

ホームページ: [URL] <http://www.kicnet.co.jp/>

 **キッセイコムテック株式会社**

〒390-1293 長野県松本市和田4010-10

●製品に関するお問い合わせ窓口

メディカルシステム事業部 セールスグループ

TEL 0263-40-1122 FAX 0263-48-1284

Eメール biosignal@comtec.kicnet.co.jp

●このカタログの内容は、改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがあります。●ATAMAP、BIMUTAS、QuickEEG、EPLYZER、SleepSignはキッセイコムテック社の登録商標です。●その他、プログラム名、システム名、CPU名は一般に各メーカーの(登録)商標です。●本製品(ソフトウェア)は外国為替及び外国貿易管理法の規定により、輸出規制品の対象品目に該当します。日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取り下さい。